

オール桧合板が人気

マルダイ41周年記念大売出し

講演会にも関心集まる

マルダイ（静岡県富土市、深沢裕一郎社長）は8日に創業41周年記念大売出しを行い約2億2000万円を売り上げた。

大売出しで人気を

集めたのがオール桧の構造用合板（12ミリ、特類2級）で前売りと当日販売を合わせると2450枚を売り上げた。通常の針葉樹構造用合板より割高でも

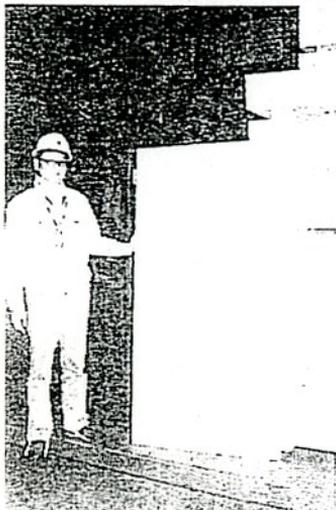
「桧という樹種は施主にも受けるし、1階に使用はGLから1階の防蟻処理も不要。国産材志向の強いお客さんが多いこともありそう」と担当の植松秀則（建材事業部課長）は話している。

針葉樹構造用合板12ミリが1類、特類合わせ5605枚の販売だったことを考えるとオール桧合板の人気が分かる。

当日は神奈川県の青

木工務店の青木哲也社長が「住宅瑕疵担保保険の義務化」についての講演を行い、瑕疵保証保険の義務化や全連連のJBN（ジャパン・ビルダーズ・ネットワーク）の紹介を行い、定員を超える150社以上の参加があった。

「木造建築士の資格取得や全連連のちぎゅう住宅の説明を聞き、保険料率の割引適用などに向けて工務店が非常に真剣に話を聞いてくれた。大工・工務店が元請けでき、生き残っていきけるよう手伝っていきたい」と講演会を企画した遠藤龍一第2営業部富士宮地区担当は話している。



オール桧合板と植松課長